

事業シート(概要説明書)					
事業名	グリーンヒルズ津山 グラスハウス管理運営			担当部名	生涯学習部
				担当課名	スポーツ課
事業年度	開始年度:平成10年度		終了年度:未定		
総合計画での位置付け	健康づくりの推進				
根拠法令等	グラスハウス条例				
実施方法	直接実施	委託	指定管理	補助金	その他
	実施主体・委託先等		ミズノグループ共同企業体		
事業概要	目的・必要性 (何のために)	憩いと交流及び健康づくりの場を市民に提供し、市民生活の向上と地域の振興を図る。			
	対象 (誰・何を対象に)	市民等			
	事業内容 (手段、手法など)	グラスハウスの管理運営 施設内容 :遊泳プールリラクゼーションプールなどのプール施設とフィットネス 開館時間 :午前10時から午後9時(夏休み期間を除く日曜日・祝日は午後8時まで) 休館日 :毎週火曜日、12月30日から翌年1月3日まで			

		H23決算	H24決算	H25決算	H26予算
事業費	報酬(嘱託・臨時職員含む)				
	賃金				
	報償費				
	旅費				
	需用費	2,494	1,676	3,503	1,500
	役務費			263	
	委託料(指定管理料)	80,856	77,000	77,000	79,200
	備品購入費	7,178		116	1,300
	扶助費				
	その他( )				
合計(千円)		90,528	78,676	80,882	82,000

事業費の財源内訳	国・県からの補助金等				
	地方債				
	その他( )				
	一般財源	90,528	78,676	80,882	82,000
合計		90,528	78,676	80,882	82,000

従事者数	正規職員(人/年)				
	嘱託・臨時職員(人/年)				

事業シート(概要説明書)

目的達成のための活動指標	活動指標名	単位	H23年度	H24年度	H25年度
	利用者数	目標		136,500	140,000
		実績	106,537	125,362	131,762
指標選択理由	利用者数が、利用実態を測るのに適した指標であるため				
事業目的の達成状況	利用者数に関しては、増加傾向にあるが、目標は未達に終わっている。				
現在の課題	<p>グラスハウスは平成10年に建設された施設だが、築15年を経過しており、経年劣化のため施設・設備に多くの不具合や修繕の必要箇所が出てきている。これから先、施設を維持するためには、これまでより多くの修繕が必要となる。</p> <p>また、燃料の高騰などにより、維持管理費が増大しており、現行どおりでは運営が難しい状況にある。</p>				
今後の方向性	<p>維持管理費の増加、設備の改修・更新費用などが見込まれ、現行の維持管理で運営していくことは困難であり、利用料の増額、コスト削減策を検討し、赤字の削減、解消を目指していく。</p>				
特記事項 (事業の沿革等) (他都市との比較等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成10年11月 グラスハウス開館</li> <li>・平成20年11月 岡山県がグラスハウスを含むグリーンヒルズ津山を、県施設としては閉鎖する方針を発表。 (津山市への譲渡も検討されたが、市への財政負担が大きいことから、津山市は県施設として存続するよう主張。県は廃止後の有効利用法を打診)</li> <li>・平成21年7月 グラスハウスの存続を求める請願が津山市議会において採択される。 (約3万人の存続を求める署名)</li> <li>・平成21年11月 県が改修工事を行うこととし、津山市が無償譲渡を受けの方針を発表。</li> <li>・平成22年 8月 県がグラスハウス改修工事を発注。</li> <li>・平成23年 3月 グラスハウス改修工事が完了。</li> <li>・平成23年 4月 県から市へ譲与され、市有施設として管理運営を始める。 ミズノグループ共同企業体を指定管理者として指定。 指定期間は平成23～28年度の5年間。(スポーツ課所管となる) 利用料金は指定管理者の収入とし、それを見込んだ指定管理料を設定した。</li> </ul>				